

平成29年度第2回南相馬市公共事業評価結果

1	事務事業名	原町老人福祉センター建設事業	担当課	健康福祉部長寿福祉課
---	-------	----------------	-----	------------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか ・高齢者
	意図	対象がどのようなことがねらいなのか ・今後増加が見込まれる高齢者に対し、コミュニケーションを図る機会や介護予防事業による健康づくりの場を切れ目なく提供し、高齢者が生きがいを持って暮らせるようになる。 ・地域の中で生きがいを持って暮らすことができる環境や孤立予防の場を、利用者からの期待やニーズに応える形で提供することで、利用者の利便性が向上する。
	結果	どのような結果をもたらすのか ・高齢者が地域の中で生きがいを持って暮らすことで、元気で健康な高齢者が増え、健康寿命の延伸につながる。

手 段	原町老人福祉センターを原町区小川町へ移転し、新規に建設する。 <施設概要> 構造・規模：地上1階木造（浴場：一部RC構造） 屋根：ガルバリウム鋼板葺き 建築面積：998.00㎡	事業費（千円）	平成28年度まで	9,374
		平成29年度まで	161,805	
		平成30年度まで	550,000	
		平成31年度まで	32,000	
		平成32年度まで	0	
		総事業費	753,179	

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか ・ニーズ調査において、市が力を入れるべき高齢福祉施策として、温泉・入浴施設の整備や高齢者レクリエーション施設などの整備が上げられている（19.2%）。 ・その他、高齢者が気軽に立ち寄れる居場所の整備（37.5%）や、介護予防事業（筋力向上トレーニング事業）（29.3%）についても、多くの高齢者から求められている。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか ・高齢者が増加傾向にあることから、市が積極的に取り組むべきである。
	有効性	成果の期待度 ・高齢者が増加することや施設利用者等の要望に応えることにより、施設利用者の増加が見込まれる。 ・サロン室や運動指導室を整備することで、高齢者とともに現役世代や若年世代も利用し、世代間交流にもつながる。また、将来高齢者が減少した場合の施設活用も可能となる。
	その他	優先性等 ・高齢者の増加とともに施設利用者も増加していることと、施設利用者のコミュニケーションや介護予防事業を行う健康づくりの場になっており、施設や設備の老朽化が進んでいることから早急に対策が必要である。 ・施設や設備が老朽化していることから、今後、益々修繕費用が発生することや場合によっては施設の休止等も想定される。
	総合評価	必要性・有効性が共に認められる。

行政評価委員会評価結果（内部評価）	
総合評価	必要性・有効性を認める。
付帯意見	なし。

平成 29 年度第 2 回南相馬市公共事業評価結果

公共事業評価委員会評価結果（外部評価）	
総合評価	必要性・有効性を認める。
付帯意見	(1) 施設の設計にあたっては、将来を見据えた幅広い層との意見交換会や、類似施設に限定せずに視察を積極的に行うなど、より多くの人に利用してもらえ るような工夫に努めること。 (2) 対象者を明確にした機能検討を図ること。 (3) 施設へのアクセシビリティの検討を行うこと。
対応方針	(1) 施設の実施設設計にあたり、基本設計を基本としながら、多世代で利用され ている民間施設等の視察を行うとともに、現在の施設利用者や子育て支援団 体等を含めた意見交換会を開催し、将来的に継続して多くの方に利用して もらえる施設機能となるよう検討を行います。 (2) 若年世代から高齢者まで利用できるよう、新たに運動指導室やサロン室の整 備を予定しており、さらに利用者確保につなげるために、施設の愛称につい ても募集も行いながら利用者拡大につなげたいと考えます。 (3) 高齢者等を含め、幅広く施設を利用してもらうためには、施設までの交通環 境整備が重要であることから、公共交通の運行に合わせた調整を図るととも に、指定管理者における送迎対応を調整・検討し、施設利用者の確保につな げたいと考えます。